



山中ますとし通信

Vol. 10

2014. 04

発行： 山中ますとし後援会 奈良市東九条町202-61 TEL:0742-61-7969

皆さんこんにちは、山中ますとしです。

日頃は皆様からの温かいご支援を頂き心より感謝申し上げます。
今回の「通信」は、2月28日から開会されました3月定例会についてご報告申し上げます。

公明党市議団として、市長や教育長に対する代表質問を始め、地域の課題等を扱った一般質問を行いました。私も本会議において一般質問を行いましたので、その内容をご報告いたします。



©NEW KOMEITO

3月
議会

山中ますとし 議会一般質問より

質問

歳入・歳出を一元的に把握し、施設の管理運営(ファシリティマネジメント)の強化による財政の健全化について。

質問

インターネット経由による資金調達(クラウドファンディング)の活用と本市における今後の展開手法について。

答弁

維持管理経費を必要とする保有財産の総量を見直し、持続可能な財政構造を構築する必要があるとあり、公共施設についても統廃合・更新を進め、中長期的な視点での見直しを図っていく。

答弁

ふるさと納税とは違った新たな財源確保方法として活用できると認識しており、本来市で直接執行する経費以外や急な資金調達が必要となった場合に、可能性についても検討する。

質問

情報システムの最適化による効果をコスト面及び業務効率面について。

質問

農地の権利取得の下限面積変更(50㎡から30㎡へ引き下げ)による本市の影響について。

答弁

コスト面では、最適化をした場合の試算として、単年度は、平成28年度から、トータルコストでは、32年度から効果が発生する。又、事務効率面では業務の処理時間の削減につながり、受付時間の短縮や書類の即時発行など市民ニーズに対応できる。

答弁

新たな担い手の確保により耕作放棄地の発生防止や地域農業・農村の維持発展を図ることや今回の下限面積の緩和は、産地ブランドの形成や地産地消の推進等、農業の成長産業化の実現に有効な改正と考える。

“ますとし”の歳時

最近、携帯電話機をスマートフォンに変更しました。指一本で、通話のできる気軽さやPCにも引けを取らない機能性に驚嘆しています。一方、私の基本は、どこまでも皆さんにお会いし、お声を伺う事で、スマホに負けない「現場力」を発揮していくことです。

平成 26 年度予算が原案どおり成立！

予算編成時における約 32 億 2000 万円の収支不足額に対し、歳入面における対策は、土地の売却収入と交付税や交付金の増額によって、約 14 億 3300 万円計上。一方で、歳出面では、人件費の削減や施策の見直しによる削減効果で、約 17 億 8700 万円を計上し、収支不足の解消を図ったとされています。不動産売却収入は昨年の売却実績からしても、不確定な財源であることから、当初予算への計上は、慎重にすべきと指摘。又、施策の見直しによる事業の廃止や縮小を図る一方で、「NARA NEXT4」関連の 63 事業、27 億 6200 万円を予算計上している点について、事業の不要不急の観点から精査し、今後も必要性や効果について検証していく事としました。このように財政状況が厳しい事から、「財政の非常事態宣言」を行い、市民に対し一層の説明責任と情報公開を果たし、「財政の見える化」から「財政の見せる化」への転換を図ることで、財政情報の共有化を進めるよう提案し、予算案への賛成討論を行いました。

新年度予算で実現！

地域公共交通バリア解消促進 近鉄あやめ池駅南口エレベーター設置

高齢者、障害者等の安全で快適な移動を確保するために、駅南北地下通路南側にエレベーターの設置を計画。平成26年度では、そのためのボーリング調査等の現況調査や測量調査を実施しました。事業費(5080万円)



救急医療体制の推進 休日夜間応急診療所の移転・新築

休日夜間応急診療所は、昭和52年の開設以来、市役所西隣で診療を行ってきましたが、施設の狭隘化と老朽化が著しく、改善が必要となり、移転・新築。更なる一次救急診療の充実を図ります。運営事業費(3億1304万円)



重度障害者入院時意思疎通 支援事業の導入

重度障がい者が発語困難などにより、入院時に医療従事者との意思疎通が十分に図れない場合に、当該障がい者との意思疎通に慣れた支援員などを派遣する事業が導入しました。

事業費(136万円)



図書館の管理運営 蔵書管理システムの導入

ICタグによる蔵書管理システムを中央図書館及び西部図書館にも新規導入することで、カウンター業務の効率化や自動貸出機による利便性の向上。図書不正持出しの防止などを行う予定です。事業費(1700万円)

